

新井

2021(令和3)年

4月号

ゲンタムへ工がシケリオソ・遠い未来、
宇宙の果てでも人間は戦争(いろいろなだ
らべ)。

- 今月の行事
- 十二日(月) 審判法座
『さじゆの一步』 第3回
・若住職担当
 - 二十五日(月) 口傳法座
・住職担当
法座終了後、午後三時より
 - ・門信徒会懇親会
○祭会 大日 午後二時半
諸々もくつかこども
 - ・勉強会 四月・五月 ちよどり休み
三章(サンバチ)の充填(しんてん)した

草刈(ハサウエイ) 十八日月 午前九時半

御農耕(ごのうこう)
耕(く)6時半

日記(にき)の略

さかがつ春(はる)が来た。日本
年(とし)① 菊(きく)を植(う)え、木
になぶる花(はな)を咲(さ)かせて、黄(き)や木
にじがていろ。解(ほ)ぐとおも
ガラス戸(戸)を開(あ)け、外(ほか)の空(そら)を
おもむけて、五(ご)重(じゆ)の
中(なか)にいるひとにはまくらや傘(日傘)、た
感(かん)触(しょく)だ。新潟(にいがた)駅(えき)、八幡(はちまん)
駅(えき)、新潟(にいがた)の風(かぜ)の路(じ)、公園(こうえん)
新潟(にいがた)城(じゆ城)に登(の)り、一日(いちにち)
寝(ね)て、あくまでひたすらのんびり。
色(いろ)んなものが植(う)えている。
年(とし)金(きん)は減(減)り、木(木)は見(み)え
口(くち)だけでは、新(しん)鮮(せん)でない。
何(なん)もかこひかえでやめた。
タバコ(たばこ)の喫(く)煙(えん)の日(ひ)も
も、うつむいた。世(よ)は、さくらの木(木)
燃(の)べ(た)たが(た)たが(た)ス、タバコ(たばこ)みが(みが)れ、

如来さまより最も遠い身が

「最も身近な人」
実は最も近い身でありました

和氣真晴

凡夫にとって、如来さま(阿弥陀仏)は信心によってのみ
知らしめられる。信心を蓮如上人はわかりやすく安心
と説かれ「安き心」と示されている。そして微塵の疑いも
なく信じる心こそ一番の安心であり信心であると断じ、
全てが如来さまからの賜りもの、即ち他力の信心であ
ると説かれている。

これが中々分からぬ。凡夫は百聞は一見に如かずと
が言つて、眼・耳・鼻・舌・身・意の五感六感の全てを使って
実感できるものをしか信じない。だが信じる対象と自身
の間に障害が挿まるとたちまち疑念が生じ、振り払お
うとしても一旦生じた疑いが消えることはなく、信じた
振りをしていくだけのことになる。振りをするには無理が

かかる。出来てしまふか、して振り、振りを山と積
んでも無理(砂上)の樓閣。いつかはこじりとく元の木阿弥、
夢まぼろしと消え失せてしまう。虚しさばかりが胸にあ
ふれてくる。とても辛いことだ。

如来さまはその凡夫の癖を良く知つておられる。その
性悪の癖のまんまと引き受けて下さつてある。そのことを
教えてくれる光景・風景はこの世に溢れている。その一片
をいつかフツと気づく時が来る。一度気つけば、凡夫のま
まに有難さに包まれる身であつたと知る事が出来る。

「極楽のあまり風」という言葉がある。夏、外回りから
帰ってきて上り口に腰を下ろし一息ついでいると、三和土
の土間をひんやりと柔らかく風が渡る。極楽に吹いた余
りの風が世間に降りて土間に渡つて、火照った体を涼め
てくれていると受け取る言葉だ。渡る風にも如来の慈悲
を貰えずにはおれなくなるのだ。ナマンダフナマンダフ

觀念

「觀念しなさい」「固定觀念は悪、先入觀は罪」

という使い方をされる

「觀念」。元来の仏教の用い方との違いと変遷を伺うにはうつづけの素材です。

「觀念しなさい」は、あきらめなさいという意味です。

「固定觀念」の「觀念」は、精神的原理を表す言葉で、ギリシャの哲学者プラトンの「イデア」の訛語として用いられます。

元の仏教での「觀念」とは、觀想念佛の略で、仏や淨土を集中して心に思い浮かべ念することです。真宗でも説かれる「觀無量壽經」にも説かれます。この意であつたのが、觀想念仏→諦かにする→あきらめる→觀念しなさいと変異し、一方で觀想念仏→心に具現化する→意志・理念→○○觀念と変異していきます。

そして、念佛は元々「觀想念仏」が主流でしたが、南無阿彌陀仏と口に称える称名念佛。それが、煩惱盛んな末法にいきる私の為に阿彌陀仏から賜つたものだと、法然聖人が様々な行から称名念佛を抜き出され、親鸞聖人へと繋がります。

受付
怒てほる人
大体男

若雀耳

五 用 こと こ ん 教 人

身近な仏教について
紹介します。

看病

「看病」が仏教用語?と思われるかもしませんが、広

辞苑で調べると、

- ①僧が病人のために加持祈祷すること。
 - ②病人を介抱すること。
 - ③病氣の療養。
- と、第一番目に僧侶が登場します。

奈良時代には看病禪師と呼ばれる僧侶の役職がありました。皇室が病を罹った時に、回復祈願を行するのです。看病禪師には教学よりも呪術力の高いものが選ばれました。八世紀になると、聖武天皇の為に一二六名の看病禪師が平癒を願つたそうです。

仏や菩薩を医王と呼び、釈尊を大医王と呼びます。「一には善く病を知り、二には善く病源を知り、三には善く病の対治を知り、四には善く治病を知る」とあります。

お駿迦様は、王倅城の悲劇において、父殺しの罪から身心ともに病にかかったアジャセ王子を、月愛三昧で癒します。闇夜を照らす月明りのように、アジャセの闇をそのまま照らしたのです。

そういうば、仏教学院で知り合つた元臨濟宗の僧侶は、漢方や漬物に詳しかつたのです。自然と身に着く能力だそうです。

法座案内

十二日(月)午後一時(

はじめの一歩第三回

正信偈の内容を少しずつ読み解いていきます。法座休止等で大幅に予定を変更して続けます。

二十五日(日)午後一時(

日曜法座

『如来さまより最も遠い身が 実は最も近い身がありました』

今月の法語カレンダーより、住職が法話を致します。

門信徒会総会午後二時(

昨年度の行事報告、決算報告 今年度の行事予定、予算案を決議します

*感染症対策を取りながらの開催です

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半～七時、お勧めをしています。
日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・華取り

十八日(日)八～九時 是非お手伝いを!

・写経会

九日(金)十三～十五時 いつでもどうぞ

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 毎月五回休み
婦人会 十二日 十時(

・門信徒会費 口座振込について

振込番号です ゆうちょ銀行
西光寺門信徒会 00180-0-713424
会費 年間二万二千円

・花の空ヨガ

しばらくお休みです

・懇親聞き場「あみだぐち」

若手僧侶で懇親聞き場をラインで設けています。以下からアクセス!



・心耕発送者募集!

心耕(月刊西光寺新聞)発送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態:三ヶ月に一度 主に月初めの平日
時間:一〇時～一二時 特製ランチ付♪

・西光寺公式アカウントが出来ました

西光寺のライン用アカウントが出来ました。お寺の行事などを配信予定です。
ラインをされている方は、左のQRコードから登録してください。



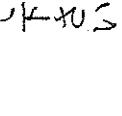
・西光寺チャンネル

YOUTUBEの西光寺チャンネルにて、節談説教を追加配信 西光寺チャンネルで検索か、以下からアクセスできます



・感染症対策について

37.5℃以上の発熱、咳が出る方はお参りをお控え下さい。マスク着用、消毒にご協力下さい。法座等の集まる行事では、念の為、氏名をご記入頂く場合があります。
急な予定変更の場合がありますので直接連絡をするか、HPを参考にして下さい



二諦 真実と方便

二諦とは真理に関する一つの側面があるといつていいです。諦は satya といい正しきことを意味します。字義としては「つまりかにする。あきらか。まこと」となりますが、我が国では「あきらめる。やめる。思い切る」など否定的な意味で使われることが多いようです。仏教ではまことと言ふ意味で使用しています。

さて通常二諦は勝義と世俗に分けられています。勝義は最高の意義で最終目的です。真実を知ることです。世俗は教えや行動など言語に係ります。真実はあるがまま tathata タシタタで真如とも如來ともいわれます。親鸞聖人は「法身はいつもなし、かたちもましまさず。しかればいつもおよばれず、ことはもたえたり」と真実真如を表現しております。真実はあるけれども説明ができない。例えば水、空気や光を説明するよりは出来ない同じことです。これらの性質や有用性などは言葉でできますが、それが一体何なのは言つことが不可能なのです。私たちはそれを体験していくので理解でています。仏教では「象」の喻で語られています。目の見えない人々が象の一部に触れて「うちわのようだ」「長いものだ」「丸太のようだ」と言つてはいるのと変わらないのです。また花を分解しても花そのものが判るわけではないのです。あるがままの全体が真実真如なのです。「わかつた!」「きれい!!」と思った瞬間が体験なのです。一人一人の体験なのです。「親鸞一人がためなりける」です。親鸞は体験を語りません。ただ「本願のかたじけなさよ」と感謝するのみなのです。「わかつた」「きれい」と語つた瞬間エデンから追放されるのです。言葉にした瞬間、分別が生れ、それと一体化した体験が消えるのです。私たちは時としてそのことを体験しているのですが、気付かないことも多く、持続もされません。真実真如を体験したからと言つても、人格が変わるわけではありません。その辺にいる人と見分けはつきません。それでいいのです。学者連が修

行を語り悟りは凄いことだと決めつけています。何か高価なものを所有したがつたら一生懸命に働くて金貯めてその結果得られるものだと同じことを言つているのです。おかしな話です。真理または真如は全体なのです。私たちは常に蒙つているのです。「一切群情蒙光照」です。

さて次に世俗としての方便とは upaya ウーヤで衆生を導くための方法や手段を意味します。真実真如悟りに至らすために方法や手段として言葉や瞑想を使用します。しかしあくまでも月を指す指でしかないので。指に捉われたら月を見ることはありません。真実は其れその先にあるのですが、其れは方便としての言葉であります。言葉は手段です。人間は言葉を通じて理解していると思い込みがちです。薔薇と聞いて花びらの形や色を想像するのは千差万別です。隣の人と同じだとは限らないのです。しかしながら言語による手段は必要なことがあります。言語しかないからです。親鸞聖人は前出の言葉に続けて「この一如法性法身よりかたらをあらわして、方便法身と申すがたをしめして云々」と言われます。豊饒大師は「一つの法身は異にして分かつべからず。一にして同すべからず」とし智慧と方便により衆生を救うことができるとしています。つまり方便を駆使されて真如を識り、方便を駆使して伝達するといつになるのです。これを自利利他といい、また自信教人信とも往々遭遇します。

このように二諦は真実と方便の事なのです。どちらも明らかなる真のことなのです。この二諦を最澄が仏法真と王法俗と定義したために日本仏教が歪んでいくのです。親鸞聖人は、はつきりと方便は衆生済度のためにあると語っています。方便としての言語は全ての物に仮の名前を付けます。前の水、空気や光などです。私たちは体験が有るからこそその言葉に働きが有ることを信知しています。単なる固有名詞ではないのです。「南無阿弥陀仏」も然りです。真実真如を指し示していくだけでなく、我々の現状を嘆いた法藏菩薩の我々衆生を必ず救うとの願いが担われているのです。

住職多感（大風やんま）

すみません。どうにもなりませんので、尊敬する故北條了介師の言葉を紹介させていただくことでござらえて下さい。

懺悔の響き

すまんことです。伝道という名のもとに知らず識らず

他宗他人を誹謗している自身を照らされ
大いに懺悔せしめられます

空恐ろしき自らの おこり高ぶり邪なる
計らいであります

唯念仏して いまここに御恩のままに
御恩のままに有難いんであります

明るいんです なんまんだ仏

人間が眞の人間に成る道 唯一つ！

迷信を乗り越えて

それは御恩を知る 御恩を報ずる身に生
まれ變る事である

幾百万の言葉も 幾千万の行動もその事

一つの覺醒に決定する

真実の教いは二つも三つもありはしない
そこ一つの生命のめざめである

我らの祖師 親鸞聖人は全生涯をかけ切
つて

濁世闇黒の魂にホンモノの念佛の灯りを
点ぜられた

真実真実に帰して ただ一回きり 地獄
駄ふんでも

昨日には帰れぬ大切な人生を力強く迷う
ことなく

彼岸に向かつて前進しようではあります
んか

生や尊シ 死や尊シ 光りヲ受ケテ

故北條師が相模原に布教所を設けられ
たのは昭和五十三年。西光寺より三年前で
す。常に先達でありました。今は蓮向寺と
いいます。素晴らしいお寺です。

五月の行事

・十二日 常例法座

「はじめの一歩」第四回

・十三日 瞑法座

・写経会 草刈りはいつもど
おり 来月号に詳く。

・御忌朝セいつどおり。

・感染症対策：ひだらすごめて下
さい。又、今日は予定の放課もあり
えます。TEL、HPなどご確認して下さい。

発行 淨土真宗本願寺派(西)

西光寺

〒二九〇一〇〇一四

千葉県市原市根田

セニニ一

TEL. 0436-22-7412
FAX. 0436-24-1652
HP <http://saikohji.hb.tpi.jp>
MAIL saikohji@hb.tpi.jp